事務事業 事後評価シート（令和7年度実施事業）

事務事業名	重度障がい者支援事業					事業通番	4123
						開始年度	令和3年度
総合計画体系	政策No.	3	政策名	健やかで人にやさしいまちづくり		終了年度	--
	施策No.	3-4	施策名	障がい者福祉の充実		担当課名	健康ふくし課
予算科目	会計	一般会計		款	民生費	担当係名	社会福祉係
	項	社会福祉費		目	障がい福祉費	重点プロジェクト	

1．事業の概要

法令根拠、条例等	会津美里町重度心身障がい者医療費の給付に関する条例、会津美里町在宅重度障がい者対策事業要綱、会津美里町人工透析患者通院交通費補助事業実施要綱
事務事業の概要	【在宅重度障がい者対策事業給付】在宅重度障がい者に対し、治療材料、衛生器材の購入のための給付券を交付する。 【重度心身障がい者医療費給付】診療にかかった医療費の自己負担額を給付する。 【人工透析患者通院交通費補助】人工透析のための通院に要する交通費を補助する。
対象（誰、何を）	重度心身障がい者医療費給付対象者
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	医療費等の経済的負担を軽減することにより、福祉の増進を図る。
成果の考え方	重度心身障がい者の医療費等の経済的負担を軽減することができた受給者数及び医療費等給付額を指標とする。

【成果指標】		単位
A	受給者数	人
B	医療費等給付額	千円

2．事業の実績

（1）事業費等の推移

区分	3年度(決算)	4年度(決算)	5年度(決算)	6年度(決算)	7年度(決算)
事業費(千円)	45,510	44,774	48,561	46,682	49,655
国庫支出金					
県支出金	20,071	19,471	21,130	20,145	24,417
地方債					
その他					
一般財源	25,439	25,303	27,431	26,537	25,238

（2）指標の推移

上段：目標値　下段：実績値

成果指標	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
A	500	500	500	450	450
	462	448	421	402	473
B	45,000	50,000	50,000	50,000	50,000
	44,204	44,426	48,042	46,189	49,077

（3）活動実績及び成果

活動実績	【在宅重度障がい者対策事業給付】在宅重度障がい者に対し、紙おむつ等の治療材料、ストマ等の衛生器材の購入を補助する給付券の支給を行った。 【重度心身障がい者医療費給付】重度心身障がい者の自己負担分の医療費を現物給付及び償還払いにて支給した。 ７月には、受給資格の一斉更新を行った。 【人工透析患者通院交通費補助】人工透析患者の通院に要する交通費の補助を行った。
成果	それぞれの制度で受給者の医療費に係る経済的負担が軽減された。

3．最終評価

成果の方向性	現状維持	（理由） 重度心身障がい者への医療費等を助成することにより経済的負担を軽減するものであり、今後も継続して実施していく必要があるため、現状維持とする。
コストの方向性	現状維持	（理由） 事業実施に必要な経費であるため、現状維持とする。
今後の方向性	現状維持	（理由） 医療費、受給者ともに増加傾向にあり、今後も継続した実施が必要である。

事務事業 事後評価シート（令和7年度実施事業）

事務事業名	自立支援給付事業					事業通番	4125
						開始年度	令和3年度
総合計画体系	政策No.	3	政策名	健やかで人にやさしいまちづくり		終了年度	--
	施策No.	3-4	施策名	障がい者福祉の充実		担当課名	健康ふくし課
予算科目	会計	一般会計		款	民生費	担当係名	社会福祉係
	項	社会福祉費		目	障がい福祉費	重点プロジェクト	

1．事業の概要

法令根拠、条例等	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律、会津美里町障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律施行細則
事務事業の概要	障がい者（児）が、日常生活又は社会生活を営むことができるよう、必要な障がい福祉サービスの給付を行う。また、身体の一部欠損又は機能を補う補装具の購入及び修理に係る費用を支給することで、身体障がい者の日常生活の自立を図る。 令和7年度は、多様化する障がい者（児）のニーズに対応するとともに、障がい者、障がい児が安心した生活を送れるよう、事業者等と連携を図りながら福祉サービスを提供する。
対象（誰、何を）	障がい者・障がい児
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	給付や支援を行うことで、障がい者、障がい児の福祉の向上を図る。
成果の考え方	支援を要する障がい者、障がい児に対し給付を行うことで、福祉の向上を図ることが目的であるため、利用者数の増加を見ることにより成果とする。

【成果指標】		単位
A	障がい福祉サービス給付実人数	人
B	障がい福祉サービス費給付延べ人数	人

2．事業の実績

（1）事業費等の推移

区分	3年度(決算)	4年度(決算)	5年度(決算)	6年度(決算)	7年度(決算)
事業費(千円)	394,071	398,513	436,072	453,736	492,336
国庫支出金	191,339	204,620	192,336	242,266	227,397
県支出金	95,669	101,969	96,168	124,521	113,699
地方債					
その他					
一般財源	107,063	91,924	147,568	86,949	151,240

（2）指標の推移

上段：目標値　下段：実績値

成果指標	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
A	180	190	200	210	220
	198	194	198	191	206
B	3,780	3,880	3,980	4,080	4,180
	4,016	4,699	4,108	4,162	4,138

（3）活動実績及び成果

活動実績	・障がいのある方が、安心して日常生活や社会生活を送れるように、障がい福祉サービスの給付を行った。 ・介護等給付年間利用延べ人数1,256人（内特別給付費813人）、訓練等給付年間利用延べ人数1,499人、計画相談支援年間利用延べ人数714人、児童通所支援528人、障がい児相談支援141人
成果	障害福祉サービスを必要とする方に対し、介護給付等の給付決定を行うことで、障がい者や障がい児の自立した生活につながった。

3．最終評価

成果の方向性	現状維持	（理由） 法令に基づき、行政が担う事業であるので、現状維持とする。
コストの方向性	現状維持	（理由） 年度によっては増減があるが、事業実施に必要な経費であるので、現状維持とする。
今後の方向性	現状維持	（理由） 障がいのある方が自立した生活を送るためにも必要な事業なので、今後も継続して実施していく。

事務事業 事後評価シート（令和7年度実施事業）

事務事業名	地域生活支援事業					事業通番	4127
						開始年度	令和3年度
総合計画体系	政策No.	3	政策名	健やかで人にやさしいまちづくり		終了年度	--
	施策No.	3-4	施策名	障がい者福祉の充実		担当課名	健康ふくし課
予算科目	会計	一般会計		款	民生費	担当係名	社会福祉係
	項	社会福祉費		目	障がい福祉費	重点プロジェクト	

1．事業の概要

法令根拠、条例等	障害者総合支援法、会津美里町地域生活支援事業実施規則
事務事業の概要	障がい者（児）が、日常生活や社会生活を営むことができるよう、地域の特性や利用者の状況に応じた柔軟な事業を実施し、障がい者の自立を支援する。 令和7年度は、第4期障がい者基本計画に基づき、必要な人に必要な福祉サービスが届くよう、関係団体と連携を図りながら支援体制の強化を図る。
対象（誰、何を）	障がい者や障がい児の保護者
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	安心して日常生活や社会生活を営む事が出来る。
成果の考え方	支援を受けることで安心した生活を営めるようにすることが目的であり、利用者数の増加をみることにより成果とする。

【成果指標】		単位
A	利用者数（実人員）	人
B	利用回数	回

2．事業の実績

（1）事業費等の推移

区分	3年度(決算)	4年度(決算)	5年度(決算)	6年度(決算)	7年度(決算)
事業費(千円)	10,724	11,427	15,088	15,457	13,799
国庫支出金	1,911	1,834	2,502	2,731	3,007
県支出金	955	917	1,251	1,365	1,503
地方債					
その他					
一般財源	7,858	8,676	11,335	11,361	9,289

（2）指標の推移

上段：目標値　下段：実績値

成果指標	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
A	170	175	180	185	195
	156	179	214	171	301
B	2,000	2,050	2,400	2,500	2,500
	2,625	2,470	2,470	2,039	1,688

（3）活動実績及び成果

活動実績	・障がいのある方が安心して日常生活や社会生活を送れるように対象者301人に対し支援を行った。 ・日常生活用具給付事業50人（471回）、移動支援事業3人（61回）、日中一時支援事業9人（373回）、地域活動支援センター事業2人（24回）、訪問入浴サービス事業3人（102回）、相談支援事業225人（655回）、理解促進事業（手話教室）8人（１回）、身体障がい者用自動車改造費助成金１人（1回）
成果	・理解促進事業として手話教室を開催し、親子で障がいや障がいのある方への理解を深めることができた。 ・日常生活における支援や活動の場の提供、障がいを持つ方とその家族に対する相談支援等を行ったことにより、障がいを持つ方への支援や社会参加、家族等の負担軽減につながった。

3．最終評価

成果の方向性	現状維持	（理由） 相談支援事業について、内容を整理することで利用回数が減少した。障がいのある方が安心して日常生活や社会生活を送ることが出来るよう支援するものであり、今後も継続して実施していく必要があるため、現状維持とした。
コストの方向性	現状維持	（理由） 事業の実施に必要な経費であり、削減するのは困難であることから、現状維持とした。
今後の方向性	現状維持	（理由） 障がいのある方が安心して日常生活や社会生活を送れるよう支援するものであり、今後も継続して実施していく。必要な人に必要なサービスが届くよう、支援体制の充実を図る。

事務事業 事後評価シート（令和7年度実施事業）

事務事業名	自立支援医療給付事業					事業通番	4128
						開始年度	令和3年度
総合計画体系	政策No.	3	政策名	健やかで人にやさしいまちづくり		終了年度	--
	施策No.	3-4	施策名	障がい者福祉の充実		担当課名	健康ふくし課
予算科目	会計	一般会計		款	民生費	担当係名	社会福祉係
	項	社会福祉費		目	障がい福祉費	重点プロジェクト	

1．事業の概要

法令根拠、条例等	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律、会津美里町障害者総合支援医療費（育成医療)支給認定実施要綱
事務事業の概要	【更生医療】身体障がい者が、自立した日常生活、社会生活を営むことができるよう、その障がいの除去、軽減を図るために必要な医療に要する費用を給付する。 【育成医療】障がい児や医療行為を行わなければ将来において障がいを残すと見込まれる児童が、手術等の治療を行うことにより、障がいの改善が期待できる場合の医療に要する費用を給付する。
対象（誰、何を）	身体障がい児・者
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	医療費の給付により、障がいのある方の自立した日常生活及び社会生活が送れる。
成果の考え方	手術などの治療によって障がいの改善または機能の維持を図るための経済的負担を軽減することにより、自立した日常生活を送ることができる。

【成果指標】		単位
A	給付決定人数	件
B	レセプト件数	枚

2．事業の実績

（1）事業費等の推移

区分	3年度(決算)	4年度(決算)	5年度(決算)	6年度(決算)	7年度(決算)
事業費(千円)	9,395	9,836	10,365	12,510	13,937
国庫支出金	3,019	4,900	4,819	6,777	6,644
県支出金	1,509	3,187	2,409	3,388	3,322
地方債					
その他					
一般財源	4,867	1,749	3,137	2,345	3,971

（2）指標の推移

上段：目標値　下段：実績値

成果指標	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
A	60	60	60	45	45
	41	42	42	41	52
B	1,155	1,155	1,155	800	800
	688	821	788	683	802

（3）活動実績及び成果

活動実績	給付決定件数　①更生医療　通院　35件　②療養介護　3件 入院　14件 レセプト件数　①更生医療　742件　②療養介護　60件
成果	医療費助成により、受給者の経済的負担を軽減した。

3．最終評価

成果の方向性	現状維持	（理由） 目標値に到達できなかったが、障がいのある方が自立した生活が送れるよう継続した支援は必要であることから現状維持とする。
コストの方向性	現状維持	（理由） 事業の実施に必要な経費であり、現状維持とする。
今後の方向性	現状維持	（理由） 障がいのある方が自立した生活を送れるよう、今後も継続した事業実施が必要である。